

様式第4号（第11項関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和2年度第3回西脇市まちづくり推進審議会
開催日時	令和2年12月24日（木）午後7時00分～9時00分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター 会議室2
出席委員の氏名 又は人数	平田富士男会長、藤原悟副会長、松尾憲子委員、井上浩代委員、藤井裕子委員、清水賢一委員、松本美千代委員、李貫一委員 計8名
欠席委員の氏名 又は人数	藤井琢己委員、岡井昭憲委員、篠田善健委員 計3名
出席職員の職・氏名 又は人数	都市経営部長 筒井研策、まちづくり課長 池田正人、まちづくり課主査 和田裕行、まちづくり課職員 遠藤香里、鳥田朱里 計5名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
議題又は協議事項	1 あいさつ（会長） 2 報告事項 (1) 第2回まちづくり推進審議会での確認事項について 3 協議事項 (1) 西脇市自治基本条例に基づく取組の検証について 4 その他 (1) 今後の予定について
会議の記録（概要）	
発言者	発言内容等
会長	<b>1 あいさつ（会長）</b> 今年度3回目の審議会となり、審議の内容も具体的になってきた。委員の皆さんには、引き続き忌憚のない意見をお願いする。
事務局	<b>2 報告事項</b> <b>(1) 第2回まちづくり推進審議会での確認事項について</b> ・事務局から【資料1】に基づき説明 (質問・意見等無し)

事務局	<p><b>3 協議事項</b></p> <p><b>(1) 西脇市自治基本条例に基づく取組の検証について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諮問書に挙げる『検証項目1：「情報の共有」に係る市の制度及びその運用に対する評価』に係る部分について、【資料2-1】、【資料2-2】及び【資料3（P1～11）】に基づき説明（途中、実際に市のHP画面をスクリーンに映し、委員の皆さんが知りたい情報等を検索）</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員の皆さんが情報を入手したいと思った際に、どのように収集されるか、こういった手段を使うことができるかといった視点で評価をいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以前、市の条例を見たいと思い検索したが、見つけることができなかった。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市のHP上に例規集のバナーがあり、そのページに入ると、検索することができる。しかしながら、例規集のサイトは市HPとは別のサーバーにあるものなので、市のHPの検索窓での検索ではたどり着けない。加えて、市民にとって「例規」という言葉自体馴染みがないため、表記の方法も工夫が必要と感じた。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そもそもHPトップに検索窓があることを初めて知った。</li> <li>・ 検索窓が小さく、分かりにくいのではないか。また、最近では音声検索をする方も増えてきているので、検索ワードの設定等が大変重要と考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の公共施設について、正式名称とは別に愛称がつけられている施設があるが、市民にあまり浸透してないと感じる。正式名称と愛称がまだまだ一致しないことが多い。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表記の統一を図るとともに、しっかりと周知していくことが大切と考える。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の情報発信という視点に加え、市民同士の情報の共有という視点についても、市民の皆さんが情報を発信したい場合に簡単な手続きで発信できる環境が整っているかどうか等ご意見をいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の行事予定等についての情報を入手するのは月1回の市の広報紙のみであり、スマートフォン等で情報を収集しようとすると、開催結果（報告）の記事ばかりを目にする。今後の予定について、もう少し簡単な方法で入手できればと思う。</li> </ul>
会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市からの情報が適切な時期に提供されているのかどうか。</li> <li>・ 原則、市の広報紙に掲載するものは市のHPにも掲載することになっており、広報紙は市のHPでも閲覧することができる。また、LINEで市の公式アカウントを友達だち登録す</li> </ul>

<p>会 長 事 務 局 委 員</p>	<p>ると今後開催の情報等を入手することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ L I N E 登録のことは市の広報紙にも載っているのか。</li> <li>・ 少なくとも広報12月号には載っていない。</li> <li>・ 県では、探している情報が H P 上のどこにあるのか、電話で画面に沿って教えてくれる。</li> </ul>
<p>事 務 局 会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市も仕組みとしてはないが、電話で問い合わせがあれば同じように対応している。</li> <li>・ 市はあらゆる手段で情報を提供していると思っているが、市民にとってはどこに情報があるのかが分からない方も多く、そこに自己評価と外部評価とのズレがあるように思う。</li> </ul>
<p>事 務 局 委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いただいた意見を課題として担当課と共有させていただく。</li> <li>・ 夜間歩行時の反射たすきについて、以前、担当課に行くとき配布していただけた話の話を聞いたが、結局どこに行けば良いか分からなかった。</li> </ul>
<p>会 長 事 務 局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が情報を得る手段として、ネット検索、市役所へ電話する、直接市役所に行く等が想定される。市役所には、コールセンター等のワンストップ電話相談窓口はあるのか。</li> <li>・ ワンストップではないが、外線は全て電話交換で受け、用件に応じて担当課につなぐ仕組みとなっている。</li> </ul>
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が情報を入手する手段のうち、市役所に直接行く、電話で問い合わせるというステップについては、完全なワンストップではないが総合窓口や電話交換等により担当課へ振り分けてもらうことができるが、H P については、トップページの総合窓口（検索窓）が分かりにくいということが課題の1つとして挙げた。</li> </ul>
<p>会 長 委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民同士の情報交換という視点で他のご意見等はないか。</li> <li>・ 市内8地区の区長会長らによる会合が定期的にあるので、比較的各地区の情報は共有できているように思う。また、地域自治協議会が設立されている3地区（津万、比延、黒田庄）間においても、今年度はあまり事業が実施できていないが、地区通信等で情報共有ができています。今後は共通した事業を一緒に開催する等、連携を深めていきたい。</li> </ul>
<p>委 員</p>	<p>ただ、地区が実施する活動の情報等を一般市民までには届けられていないと感じる。市内全地区で自治協議会が設立された際には、市民への情報発信としてイベント的なことが開催できればと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自身が所属するボランティア団体でイベントを開催した際、新聞社にも依頼して告知を行ったが、あまり集客につながらなかった。SNS等の様々な媒体を使って情報発信すること</li> </ul>

<p>委 員</p>	<p>はもちろん大切であるが、何かに参加したいと思う原動力は人と人とのつながりだと強く感じた。少し前までは、地域には子ども会やPTAがあって自然と人とながられていた。情報を発信するための人づくりだけでなく、根本的に人と人をつなげる仕組みづくりが大切だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が所属する地域自治協議会で広報の担当をしており、情報発信の苦勞はとても共感できる。まだまだ紙媒体による情報発信の需要が多いため、地区の広報紙も紙媒体で発信しているが、最近では若い方に向けてSNS等での情報発信も行っている。今年はコロナ禍で多くのイベントが実施できなかったので、YouTubeで絵本の読み聞かせや歴史研修会の動画配信を行った。知り合いのお父さん等が登場することでチャンネルの登録者数も増えているように思う。顔の見える関係の大切さを感じた。</li> </ul>
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の皆さんの多くは、発信したい気持ちもコンテンツもあるが、発信の手段や方法に関して知識や技術が不十分なところがあり、そのサポートがあればと思っている。加えて、テクニックだけでなくそれ以前の人とのつながりを作り育てる取組の重要性も感じている。人とのつながりを作るにもきちんと情報を発信することが大切であり、発信したい情報をターゲットにきちんと届けるためのサポート体制についてさらに検討する余地があると感じた。</li> </ul>
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が情報を得るための総合的な窓口という観点で、図書館のレファレンス機能を生かすことはできないかと考える。ある図書館では異業種交流会を開催されているところもあり、顔の見える関係の中で情報が交換されることで、信頼性等が生まれ、次の活動につながっていくのかと思う。また、人材バンク等を生かしながら、それをサポートする体制を中間支援として整えることで、市民間の情報共有といったところを補完していけるのではと考える。</li> </ul>
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の海の中で、市民が入手したい情報へたどり着けるように誘導する機能を誰がどのように担うのか模索が必要。市が発信する情報が、市民にどれだけ正確に伝わり生活の向上に役立っているのかアウトプットとアウトカムを結びつけることが必要と考える。市民が情報を入手する際に行う3ステップ（HPを見てみる→市に電話してみる→市役所に直接行ってみる）に沿って現状（レファレンス機能の充実性等）を検証することが必要ではないか。数ある情報の中で自分が求める情報に最短でたどり着くことができる市民はあまり多くな</li> </ul>

事務局	<p>いと考える。HP内の交通整理が充実していないとともに、検索窓等のレファレンス機能があること自体市民には伝わっていないと感じた。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の議題でもある市民間の情報共有はとても重要だと考えている。行政が市民の活動を発信したいとなっても、公平性の観点で流せない場合が多い。まずは、市民間で情報共有をしながら活動を進めていただき、活動が成長することで行政との連携も生まれ、市をよりよくしていく施策を一緒に進めることができ、それが参画と協働のまちづくりだと考える。現在、行政が入り込みにくい部分を民間の範囲で連携、調整する中間支援をNPO法人に委託している。民間で市民をサポートする中間支援機能をさらに生かしていくことで、市民間の情報共有や連携した活動が育っていくよう、中間支援機能について積極的な周知・PRを行っていききたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全地区で地域自治協議会が設立できれば、中間支援機能のような役割を担えるのではと考える。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙媒体だと、紙面のページ数等の容量が決まっており、そこに入りきれない内容をどうするかという判断が生じた場合に公平性という問題が出てくると考える。しかしながら、SNS等であれば容量に制限なく載せることができると考える。伝えたいコンテンツはあるけど、ツールが分からない人を行政がどうサポートしていくのか、担当課で議論いただきたいと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それは、市民のつぶやきのものを市のSNS等で発信するということか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、市のFacebook担当に依頼することで、市民もイベント情報を告知できるような仕組みを作ることも市民同士の情報共有の1つではと考える。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報の共有」に係る評価のポイントとして、情報の提供側と受け手側の感覚にズレがあって、そのズレを上手くマッチングさせる仕組みやツールを再度検討する必要があるのではないかと感じた。市民が情報入手する際の3ステップのそれぞれについて再度自己点検していただきたい。</li> </ul>
事務局	<p>市民間の情報交換については、市民の側には伝えたいという意志とコンテンツはあるが、それを上手く発信できていないと感じている人も多い。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の自己評価として、ある程度情報発信ができていると評価していたが、情報発信の仕組みについては改善の余地があることが分かった。担当課としっかり情報共有を行いたい。</li> </ul>

	<b>6 その他</b> <b>(1) 今後の予定について</b> 第4回審議会の日程について
問合せ先	都市経営部まちづくり課